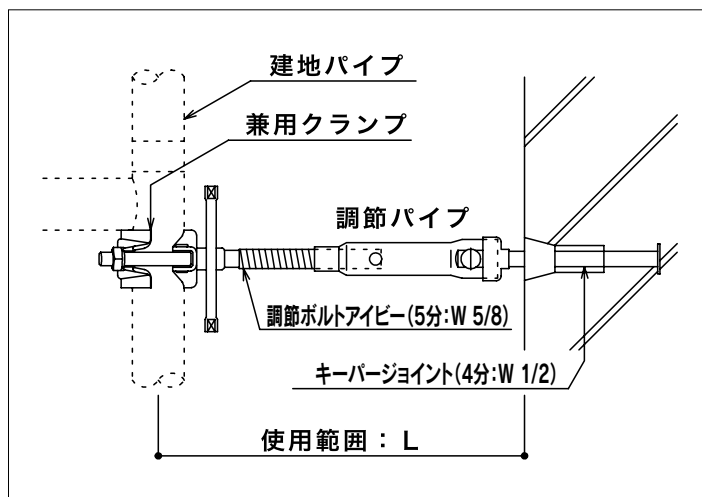


[2・1・3] 壁つなぎ

■使用・規格（許容耐力：4.41kN／本）

規格	使用範囲 (L=mm)	重量 (kg)
AKA-130	140～170	0.5
AKA-160	160～200	0.7
AKA-200	200～240	0.8
AKA-300	240～320	0.9
AKA-350	280～400	1.0
AKA-400	320～480	1.1
AKA-600	480～670	1.4
AKA-800	670～860	1.7
AKA-1000	860～1,050	2.0



(社)仮設工業会認定基準

壁つなぎ用金具の性能は、鋼管等に取り付けた場合の引張強度および取付面に対して75度傾けた場合の圧縮強度がそれぞれ表1および表2の条件を満足する物とする。壁つなぎ用金具のつかみ金具が、単クランプ又は、これに類した構造のようにボルト・ナットで締め付けるものにおいては、当該つかみ金具の性能が表3の条件を満足する物とする。

表1	引張強度（単位 kN）	
	全個数の平均値	全個数のうちの最小値
	9.81 以上	8.83 以上

表2	圧縮強度（単位 kN）	
	全個数の平均値	全個数のうちの最小値
	9.81 以上	8.83 以上

表3		4.41kN・cmの締付トルク時において
	カール部の伸び又は本体の変形	1mm未満
	ボルトの異常	切断又は変形がない
	切欠き部の異常	ボルトの出し入れが自由

■施工上の注意

- ・取付間隔ならびに許容風速（参考）

項目	垂直方向(m)	水平方向(m)	許容風速(m/S)	積(m ²)
シート張り	3.4（2層）	3.66（2スパン）	21	12.4
ネットフレーム張・養生金網張	5.1（3層）	5.49（3スパン）	20	28.0
建枠・筋違のみ	6.8（4層）	7.32（4スパン）	31	49.8

- ・建物に出来るだけ直角に取り付けること。
- ・クランプは建地パイプ等にしっかり締め付けること。
- ・壁つなぎ用足場インサートは専用のものとする。
- ・枠組み足場への取付は建地材の出来るだけジョイント部に近いところが望ましい。
- ・朝顔及び拡幅枠を設置している箇所は、朝顔の取付部には2スパン毎に設け、拡幅箇所には各スパン毎に取り付ける。
- ・計画詳細については、担当営業までご相談下さい。